

令和7年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和8年6月23日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市重要文化財旧函館区公会堂（函館市元町11番13号）		
設置条例	函館市重要文化財旧函館区公会堂条例		
指定管理者名	名美興業株式会社	指定期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日
指定管理者の特 別な要件		選定 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募
設置目的	重要文化財旧函館区公会堂を保存し、およびその文化的活用を図る。		
設置年月	令和3年4月（建築 明治43年9月）	建設費	58千円
構造規模等	木造2階建棧瓦葺（本館）、木造平屋建渡廊下附属棧瓦葺（附属棟） 建物延床面積1,900.12㎡ 1階 大食堂、寢室、事務室等、2階 大広間等		
開館時間 休館日等	開館時間：4/1～10/31 火曜日～金曜日まで 午前9時～午後6時 土曜日、日曜日、月曜日 午前9時～午後7時 11/1～3/31 午前9時～午後5時 休館日：年末年始（12/31～1/3）、館内整理日（随時）		
料金体系	一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円 ※利用料金制の採用 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
<p>1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況</p> <p>(1) 管理業務</p> <p>ア 入館者に関すること（案内・説明、連絡調整・情報提供等、入館制限、利用状況、苦情対応）</p> <p>イ 大広間等の使用の許可および制限に関すること</p> <p>ウ 維持管理に関すること（清掃、警備、施設・設備保守点検、修繕、備品管理、敷地内管理）</p> <p>エ その他教育委員会が定める業務（計画・報告等）</p> <p>オ 設置目的に資する事業（公会堂Cityコンサート、公会堂フォトウェディング等）</p> <p>(2) 委託事業</p> <p>ア 社会教育施設等使用料収納事務委託（公会堂使用料の収納事務）</p> <p>(3) 自主事業</p> <p>ア 売店事業</p> <p>イ 貸衣裳事業</p> <p>ウ カフェ営業</p> <p>エ 記念写真販売</p> <p>オ クリスマスマニコンサート</p> <p>カ 旧函館区公会堂貸切プレミアムディナー</p> <p>2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績</p> <p>ア ホームページ、X（旧Twitter）、施設案内パンフレット等による広報</p> <p>イ 危機管理体制の整備</p> <p>ウ 職員研修の実施</p> <p>3 市民ニーズの把握の実施状況</p> <p>ア アンケートボックスの設置（通年）</p> <p>選択式による来館目的や展示の満足度等のほか、自由記述による意見・要望の記載欄を設け、適宜対応している。</p> <p>令和7年度回答数：紙による回答839件、QRコード読みによるオンライン回答1,184件 計2,022件</p> <p>イ 窓口対応（通年）</p>			

4 施設の利用状況

・令和7年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	18,705	26,720	23,031	28,226	42,034	31,656	26,689	18,701	13,454	7,354	11,426	21,547	269,543

・年度別利用件数

(単位：人、件、円)		← 休館 → ← 当期指定期間 →					
年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
入館者数	-	84,849	157,600	182,970	302,025	269,543	
貸室利用件数	-	2	13	20	25	18	
大広間	-	2	9	18	19	14	
	-	0	4	2	6	4	
使用料収入	-	18,976,690	37,109,545	44,118,045	73,885,995	66,032,770	

※平成30年10月～令和3年3月は保存修理工事に伴い休館
 当期指定期間：名美興業株式会社（現指定管理者）
 貸室開始は令和3年度～（4月1日～10月31日の期間に限る）

5 指定管理者の収支状況

(単位：円)		← 休館 → ← 当期指定期間 →					
区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
収入	委託料	-	55,599,746	54,615,802	55,485,588	55,442,000	56,201,518
	利用料金						
	事業収入	-	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
	損失・収支補填金	-	-	87,743	0	0	0
	雑入	-	1,000	356	87,986	23,703	93,456
	計	-	-	54,903,901	55,773,574	55,665,703	56,494,974
支出	人件費	-	19,852,127	19,870,705	20,531,325	19,912,647	21,817,682
	印刷製本費	-	2,366,663	1,948,022	1,161,238	2,416,917	2,238,462
	燃料費	-	2,783,558	2,893,990	2,740,211	2,687,530	2,634,742
	水道光熱費	-	2,294,402	2,474,334	2,388,895	2,614,317	2,594,481
	使用料・賃借料	-	1,640,320	1,753,400	1,776,140	1,753,400	1,755,600
	委託費	-	14,921,216	16,488,346	4,518,484	4,444,597	4,449,592
	通信運搬費	-	731,946	668,974	693,557	708,899	706,508
	消耗品費	-	2,143,618	948,083	589,872	818,303	716,619
	修繕費	-	72,600	140,800	457,050	359,700	299,200
	支払手数料	-	67,652	62,380	53,630	88,050	118,140
	新聞図書費	-	31,470	33,360	0	0	0
	雑費	-	358,950	442,668	456,740	457,000	478,600
	広告宣伝費	-	81,000	11,000	10,000	30,000	10,000
	旅費交通費	-	1,200	200	1,580	420	500
	接待交際費	-	35,000	0	0	0	0
	備品等	-	442,630	0	0	0	0
	事業費	-	215,208	290,439	338,017	410,290	411,310
	その他管理経費	-	5,139,018	4,920,000	17,759,284	17,727,384	19,664,884
	租税公課	-	2,011,548	1,957,200	2,034,993	1,901,000	1,807,900
	計	-	55,190,126	54,903,901	55,511,016	56,330,454	59,704,220
当該施設の利用者 一人当たり税金投入コスト	-	-	111	62	△ 61	△ 36	

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有 ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	■A	様々な場面において、柔軟な対応・円滑な運営の実施に努めた。	令和7年度は、年間入館者数が269,543人となり、前年度の過去最多からは減少したものの、引き続き函館市全体への観光客の来訪が多かったことから、安定した入館者数を維持することができた。アニメ作品による一時的な需要が落ち着いた中においても、当館が函館観光の主要施設として一定の入館者を確保できたことは、認知度および観光資源としての価値が定着しつつあるものと考えられます。 一方、物価上昇の影響による消耗品費や光熱費の増加に加え、施設の経年劣化に伴う維持管理コストの増大が続いており、収支バランスの確保は引き続き課題となっています。利用者ニーズやサービス水準を維持しながら、経費全体の適正化と持続可能な運営体制の構築に向けた検討が求められます。 施設管理面では、「維持管理強化運動」を継続し、点検体制のもと異常の早期発見と対応に努めました。ペランダからの雨漏りは改善されたものの、敷地内の植栽管理、特に松枯れへの対応が継続課題となっているほか、雨樋の隙間からの水漏れによる外壁腐食の進行が確認されており、早急な対応が必要な状況です。加えて、裏庭の斜面に生育する老木についても安全面での懸念があり、函館市と連携した計画的な対応が求められます。 事業面では、一貫性に欠けない安定的な集客の確保が課題です。各種イベントや季節のフォトブース設置等により入館機会の創出を図るとともに、「函館ハイカラ衣裳展」や「カフェ十字屋」など自主事業の充実により、入館動機が多様化を進めてきました。加えて、リーフレットの多言語化や券売機の多言語対応など、外国人入館者への受入環境整備についても取り組む必要があります。 令和6年度に得られた高い認知度を踏まえ、持続的な集客機会の確立と施設価値の向上を図るとともに、当社のヒルメンテンス業としての専門性を活かし、重要文化財である旧函館区公会堂の「保存」と「活用」の両立を支える維持管理体制の強化に努めます。函館市民および国内外の入館者に長く親しまれる施設であり続けるため、事業運営の質と効率性の向上に引き続き取り組みます。
	□B		
	□C		
	□D		
サービスの 質の状況	■A	日々の経験等を基に、より親切で丁寧な対応ができるよう工夫した。また、利用者が興味・目的が持てるような事業を実施した。サービス向上等に努めた。	職員研修については、オリジナルの接客マニュアルを活用したOFF-JTと現場でのOJTを組み合わせて実施し、新人スタッフが早期に業務へ適応し、既存スタッフと同等のサービスを提供できる体制を維持しました。休館日には全スタッフによる接遇や入館対応に関する意見交換・研修を継続し、サービス品質の平準化と向上に努めています。さらに、指導体制については当館スタッフが主体となって企画・実施する段階へと発展しており、現場主導による人材育成が一層定着しています。 外国人対応や多言語対応については、実地経験の蓄積により一定の対応力を確保しているものの、外国人入館者の増加に伴い、案内表示や説明の分かりやすさなど受入環境の充実がより一層求められています。リーフレットの多言語化や券売機の多言語対応などについては、引き続き課題として、円滑な案内対応の実現に向け検討を進めていく必要があります。 また、不定常における対応の履き間違いや監視の疎かといったトラブルへの対応も引き続き課題です。連絡や検配等の用意し、注意喚起の掲示等により一定の改善を図っているものの、より効果的な対策として鍵付き靴箱の導入について検討を進め、利用者の安心・安全の確保に努めてまいります。 これまでの運営経験の蓄積を踏まえ、利用者満足度のさらなる向上に向け、職員への対応力強化と受入環境の整備の両面から、サービス品質の一層の向上に取り組んでまいります。
	□B		
	□C		
	□D		
団体の経営 状況	■A	特に問題なし。	昨今の物価上昇や最低賃金の引上げに加え、施設の維持管理に係る経費の増加により、支出の増大が続いています。入館者数は前年度の過去最多からは減少したものの、引き続き高い水準で推移しており、収支バランスの確保が課題となっています。今後は、経費の適正化を図りつつ、当館の魅力発信を継続し、函館・西部地域のランドマークとして設置目的に即した管理運営と持続可能な運営体制の確立を目指してまいります。
	□B		
	□C		

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	□A	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われている。	令和6年度には及ばずとも入館者数は高水準を保っており、館内の観覧に当たり支障が出ないよう適切なオペレーションに取り組むこと。貸室利用については、利用可能期間に対し利用実績が依然少ない状況にあるため、利用増加へつながるようなアピール等に努めること。
	■B		
	□C		
	□D		
サービスの 質の状況	■A	接遇の評価は概ね高く、職員の定期的な研修の実施によりサービスの質は安定している。	WEBアンケートを開始し、回答数の上昇により入館者のニーズを把握しやすくなったため、さらなるサービスの向上へ繋げられるよう努めていただきたい。
	□B		
	□C		
	□D		
団体の経営 状況	■A	団体の経営状況は安定している。	物価上昇等の影響により厳しい状況が続いているが、引き続き、自主事業収入の確保および入館者増につながるサービス・広報等に取り組む、安定した事業運営に努めていただきたい。
	□B		
	□C		

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準とおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。